

## 日韓議員外交の新展開 未来志向の日韓戦略

2026年4月末、自民党の国会議員団(牧島かれん元デジタル大臣、高村正大衆議院議員ら)とともに韓国を訪問しました。

今回の視察は、①デジタル行政の先進事例の調査、②安全保障・経済分野での連携の可能性の検討、③未来志向の日韓関係を築くための議員外交の強化を目的としたものです。世界の知見を踏まえ、日本の強みを活かして政策を実効的なものとすることは、私の重要な役割だと考えています。

### 日韓の共通点が広げる協力

未来志向の日韓関係を築く日韓外交フォーラムでは、日本と韓国が多くの共通点を持つことを改めて確認。両国とも資源に乏しく、海外から原材料を輸入し、製品として輸出すること(加工貿易)で成長してきた国。米中の間に位置するという安全保障上の環境も似ています。こうした共通点があるからこそ、協力は単なる友好にとどまらず、互いの国益につながる実践的なものになります。

歴史認識の課題には丁寧かつ率直に向き合いながらも、経済・デジタル・安全保障の分野で前向きに連携していく重要性を共有しました。

### 韓国のデジタル行政の進展

視察の中核は、韓国のデジタル行政

政を担う中核機関である国家情報資源管理院(NCIA)、知能情報社会振興院(NIA)、韓国地域情報開発院(KIID)との意見交換でした。韓国では、これまで省庁ごとに分散していた情報システムを段階的に統合し、現在は4拠点のデータセンターで、約70の中央行政機関のシステムを一体的に管理。年間約1,200億円規模の予算のもと、24時間365日の運用体制が構築されており、政府専用クラウドと民間クラウドを使い分けることで、安全性と効率性を両立しています。地方自治体でも共通化が進み、約1,100種類以上の行政サービスが共同運用。引越越しの際には、運転免許の住所変更など40種類以上の手続きが自動連動する仕組みが整っています。

さらに、AIを活用した「AI国民秘書」により、1万件以上の行政手続きをオンラインで案内・処理できる環境も整いつつあり、国民の利便性向上が着実に進んでいます。

### 日本への示唆は、まずは小さく始める

韓国側からのメッセージで印象に残ったのは、「最初からすべてを一つにまとめようとしないこと」です。まずは国民向けサービスの分野から、共通化や標準化を進めることが現実的だという考え方です。たとえ

ば、スマートフォンで使う行政アプリをわかりやすく統一するなど、小さな改善を積み重ねることが重要です。

日本においても韓国の「AIチャンピオン公務員」制度などを参考に、デジタル人材に求められるスキルの基準の共有化と研修体制が必要と感じました。

### デジタルは安全保障そのもの

今回の議論を通じて、デジタル政策は単なる便利さの問題ではなく、安全保障にも直結していることを改めて実感しました。サイバー対策やデータの管理、半導体やAIといった分野は、国の競争力や安全に深く関わります。日本と韓国が協力し、ルールづくりや技術面で連携することは、地域の安定にもつながる重要な取り組みです。

政府間では難しいテーマも、議員同士なら率直に議論できます。今回の成果を、今取り組んでいる日本の規制改革やデジタル政策に活かしてまいります。

山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram

やまもと・さとし



愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙(比例代表)に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙(東海ブロック比例代表)に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語スペイン語を話すマルチリンガル。

衆議院議員

山本左近

## 韓国視察について



牧島かれん元デジタル大臣、高村正大衆議院議員とともに韓国の国会議事堂前にて。



未来志向の日韓関係を築く日韓外交フォーラムに参加。未来へ向けて丁寧かつ率直な意見交換となった。



経済協力や安全保障についてなど議論。北朝鮮による拉致問題についても意見交換。



地方自治体のシステムが統合され、引っ越しの際には運転免許の住所をはじめ47種類もの情報が自動連動で更新される仕組みを実現している。



国家情報資源管理院（NCIA）、知能情報社会振興院（NIA）、韓国地域情報開発院（KLID）との意見交換。



スリープテックについて、韓国試験認証研究員（KTC）と意見交換。日韓で連携し、相互認証を年内に軌道に乗せる予定。



韓国のスタートアップ企業A2Zによるソウル自動運転バス。11のバス停4.8kmの循環ルートを走っているそう。乗りたかったのだが、時間が合わず残念。



ソウル市駅では構内改札を撤去。全列車を指定席化し、罰則金の大幅引き上げ等により不正乗車を抑止。IC化で車内確認のみで運用可能に。効率性とコスト削減に大きく寄与。



かつての清溪川は高架道路があり自動車走るドブ川だった。高架道路を撤去し、清溪川を再生。作るだけじゃないインフラ整備や都市計画のあり方について示唆に富む好事例。



1953年の休戦協定によって作られた国境。韓国と北朝鮮とで離散したままの家族がその思いを綴ったりボンがかけられている壁。朝鮮半島の悲しい現実。



イムジン川の向こう側は北朝鮮。拉致問題は、時間的制約のある人権問題で、ひとときもゆるがせにできない最重要課題。必ず解決するとの意志を改めて固めた。



望遠鏡から北朝鮮の様子を見ることが出来る。複数人で農作業をしている様子が確認できた。

### JAPAN as No.1 Again!

日本を再び世界一の国へ